

# 補綴治療をご検討されている患者さまへ

現在日本の保険治療で使用されている金属は12%金銀パラジウム合金です。  
保険診療のメリットは「安いこと」。  
では、デメリットは？

- \* 必要最低限の治療しか受けられないこと
- \* 保険で使用される金属=12%金銀パラジウム合金は、
  - ・非常に硬く、歯や顎にも悪影響
  - ・硬いため加工しにくく、精度に欠け、適合が悪い

↓  
2次虫歯になる危険性が高まる

(2次虫歯=1度虫歯治療したところが再度虫歯になること)

- \* 世界中で、この12%金銀パラジウム合金を口腔内に使用しているのは、日本だけ！
  - ・ドイツでは幼児や妊婦には使用しないよう勧告が出ている



開けてみると...

2次虫歯が発生!!



## 何故そんな制度になってしまったのでしょうか？

国民皆保険制度が成立したのは1960年代。

戦後復興期に「全て」の国民が「最低限の」健康を保つことを目標に成立。

しかし当時、日本補綴歯科学会が委員会報告で発表した内容にも、  
実はできるだけ早い時期に金合金に移行すべきであるとの記述があったのです。

つまり、妥協案であったはずの12%金銀パラジウム合金が、そのまま現在を迎えているのです。

この半世紀の間に、歯科治療の技術も材料も大きな進化をし、患者様の要望や価値観も多様化しているにもかかわらず、『「必要最低限」の治療をするための制度=現在の日本の保険診療』では、そのご期待にお応えすることはできないのです。

## では、奥歯にはどんな素材を入れるのが望ましいのでしょうか？

当院では、「ゴールド」もしくは「グラディアフォルテ」をお勧めしております。

### 「ゴールド」の利点

- \* 天然の歯と同じ程度の硬さなので、対合する歯を傷めない
- \* 生体親和性に優れており、金属アレルギーの心配が少ない
- \* よりフィットした精密な詰め物・被せ物を製作でき、かみ合わせに優しい

### 「グラディアフォルテ」の利点

- \* 天然の歯に近い硬さなので、対合する歯を傷めない
- \* 金属アレルギーの心配がない
- \* 審美性に優れており適合性も良く、かみ合わせに優しい

《価格》(ゴールド・グラディアフォルテともに)

インレー・アンレー 150,000円(税抜)

クラウン 200,000円(税抜)

※上記料金は麻酔代、むし歯治療代、仮歯代、型取り代、装着代すべてを含みます。

※なお、前歯に最適な素材は割愛させていただきます。



## !! しかし素材だけが良くては解決にはなりません！

小さくて複雑な形態をしている歯。そんな歯の一部を補う詰め物・被せ物=補綴物を作製するには、材料だけでなく、技術的な努力も必要不可欠です。

では、オーク銀座歯科クリニックでは、どのような技術的努力を行っているのでしょうか。



OAK GINZA DENTAL CLINIC

## ■オーク銀座歯科クリニックで行っている技術的努力

### 《その1》拡大鏡やマイクロスコープを使用した治療

歯科医師は治療時、マイクロスコープや拡大鏡の使用し、高い視認性が得られ、安全で正確な治療を行っています。当院では、歯を削る、歯に詰め物をする、歯肉の処置をする、被せ物の適合状態を確認する、かみ合わせの調整をするなど、全ての処置で使用しております。

また、歯科技工士は、専用のマイクロスコープを導入して作業を行っています。

精度が高く、適合の良い詰め物・被せ物は、繊細なかみ合わせの再現はもちろん、プラーク(虫歯や歯周病の原因)の侵入を防ぎ、2次的な虫歯の発生や歯周病からも歯を守ります。



拡大鏡



拡大鏡を使用して治療している様子



歯科技工士用マイクロスコープ

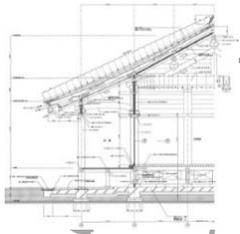
## ■オーク銀座歯科クリニックで行っている技術的努力

### 《その2》歯科医師と院内歯科技工士の密な連携

歯科医師は、出来上がりのイメージや理想とする設計をもとに、歯ぐきや歯の土台、かみ合わせのバランス整えていくのが仕事です。建築で例えるなら歯科医師は、設計士。

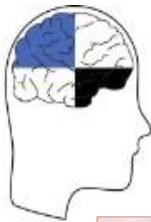
歯科技工士は、その設計士である歯科医師のイメージを共有し具現化するデザイナーであり、大工と言えるでしょう。当クリニックでは、宮大工クラスの技工士と連携しております。

その二人の職人が緊密でダイレクトなコミュニケーションをとることで、より精度の高い被せ物が完成するのです。

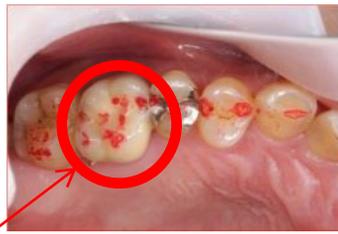


歯科医師=設計士

緊密な相互コミュニケーション



歯科技工士=宮大工



### 《グラディアフォルテのクラウン》

かみ合わせの接触点を高品質に仕上げ、かみ合わせ異常を解消します。

オーク銀座歯科クリニックでは、外注技工ではなく、2名の院内技工士による高品質な補綴物を提供しております。

## ■オーク銀座歯科クリニックで行っている技術的努力

### 《その4》精密な型取り「圧排(あっぱい)作業」

歯科医師と歯科技工士は、基本的には模型をもとにコミュニケーションをとっています。したがって、精密な被せ物を作るためには、精密な模型が重要となります。

当院では、より精密な型取りを実現するため「圧排(あっぱい)作業」を行います。歯と歯肉の境目に糸を巻き付けていきます。

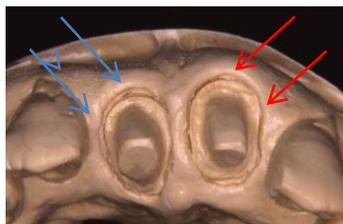
この作業を行うことで、型を取る材料がすみずみまで行き渡り、歯のラインの鮮明な模型が出来ます。



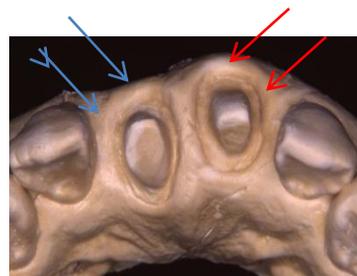
歯と歯肉の境目に糸を巻いている様子



巻き終わったら5分待ち、糸を取って型取りをします



圧排作業を行った模型



圧排作業を行わなかった模型

見比べてみてください。違いは歴然です！

## ■オーク銀座歯科クリニックで行っている技術的努力

### 《その5》補綴専門医・指導医を有している院長による治療

当院院長は、補綴専門医ならびに補綴指導医の資格を有しております。

この認定を保有している歯科医師は、全歯科医師10万人中、専門医が約1.2%、指導医は約0.2%ほどしかおりません。

補綴専門医・補綴指導医として、家族やスタッフには絶対に口腔内に装着しない歯科材料を臨床応用しないこだわりがあります。

また、特に補綴歯科治療後に、顎や噛み合わせが不調になってしまった患者様の治療には、顎や噛み合わせに優しい材料の使用や、優秀な技工士を選び、高品質な歯科補綴物を提供する必要性がある点をご理解頂けますと幸いです。



## 安心の保証システム

治療した後に、「この歯は一体何年持つのだろうか?」と不安になられたことはありませんか。

当院では、自由診療において、歯科技工士による自費補綴物は5年、インプラントは上部構造が5年、インプラント体は10年の保証書を発行しております。

なお、口腔内のメンテナンス及び検診のために、原則として3か月~6か月に1度ご来院頂くことを条件とさせて頂いております。

治療後も二人三脚でお口の健康を維持していきたいと考えております。

責任を持った治療の証として、また患者様の不安解消の一助となれば幸いです。

